（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（　城山観光株式会社　）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織体制	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している。	●		各部署において毎日朝礼・夕礼時経営理念の朗唱。年4回のグループ全体会においても皆で朗唱。四半期ごとに経営目標に対する進捗状況の確認会を実施								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し，法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		内部統制室より「わたしたちのコンプライアンス」を発行し、定期的な研修会を実施。各部署にコンプライアンスリーダーを選任し、リーダーを中心とした全従業員の共通認識として啓蒙に取り組んでいる。																16	
	3	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		2020年経営戦略部内にSDGs推進グループ新設。 2021年社長の直轄部署としてSDGs推進室に引き上げ。CSRの取組を推進し、全社的な活動として取りまとめている。																16	
	4	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により，自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し，適切に対応している。（※利害関係者：消費者，投資家等及び社会全体）	●		社外取締役や城山応援大使、経営アドバイザーを広く選任し、定期的な意見交換、従業員向けの研修を実施																16	17
	5	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して，責任を持った対応に取り組んでいる。		●	№3に同じ。主幹部署を設けることで、果たす役割を明確にし、全社的な取り組みに繋げている。																16	
	6	【災害や事故などのリスクへの備え】 ・自然災害や事故などに備え事業継続計画（ＢＣＰ）を策定し，訓練や見直しを行っている。		●	BCPに基づき、定期的な防災訓練、消防訓練、防犯対策研修、救命救急講習会を実施している。									9		11		13.1			16	17
	7	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●	中長期経営計画の策定、BCPの定期見直しなど								8	9								17
公正な取引	8	【贈収賄の禁止，公正な競争】 ・汚職・贈収賄の禁止及び不正な競争に関与しない方針を掲げ，社員に周知している	●		前述のわたしたちのコンプライアンスに行動規範を設け、通報窓口も設置し、防止に努めている。										10						16.5	
	9	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		積極的な商標登録・意匠登録を行い保護に取り組み、定期的な見直し、棚卸も実施している。 また、他社の知的財産の侵害防止のための規定も設け保護に努めている。								8.2 8.3	9								
	10	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護規定 個人番号及び特定個人情報取扱規定の制定																16	
	11	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー，事業パートナー等と，人権侵害の防止，生物多様性や生態系への悪影響の防止，倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し，共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	12	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	段階的に扱いを開始 2022年度クリスマスケーキのチョコレート 【予定】レストランにてフェアトレードコーヒーの採用	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
人権・労働	13	【差別・ハラスメントの禁止】 ・性別，年齢，障がい，国籍，出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され，社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		社内にセクハラ・パワハラの相談窓口を設け、定期的な研修を実施。根絶に向けて取り組んでいる。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	14	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により，過度な長時間労働を防止し，家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		敷地内に託児所完備 テレワーク・時短勤務・1時間単位の有給制度・育児介護休暇制度を導入			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	15	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため，安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生委員会を設置。社内の危険個所・衛星不十分な個所を洗い出し、改善を図り快適な職場環境を実現するために取り組んでいる。			3					8.8									
	16	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性，外国人，障がい者，高齢者等）が，十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		多様性理解のためのダイバーシティ研修を実施。積極的な外国人雇用、就労サポート（面談実施など）を図っている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	17	【人材育成】 ・適切な能力開発，教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		人材開発部の設置。性別に捉われないジョブローテーション、OJTの活性化。職場においてにおいて個人の持つの才能を最大限発揮させることができるよう、自社でコンテストやコンクールの開催。階層別・テーマ別研修実施。公平で幅広い研修参加の機会を提供				4	5.5			8	9								

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（　城山観光株式会社　）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	18	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず，同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		厚生労働省が定めるガイドラインに則り、賃金のみならず、福利厚生、キャリア形成・能力開発などの待遇においても取組んでいます					5.5			8.5		10.2 10.3							
人権・労働	19	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ，生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康相談グループの設置。年1回の健康診断、ストレスチェック、メンタルヘルスセミナー実施。			3					8									
人権・労働	20	【ＤＸの推進】 ・ＩＣＴやＡＩを活用したデジタル化等のＤＸの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	デジタルマーケティング部の設置。セミナー受講や研修会の開催など、社内におけるDX人材の育成に努め、全社的にアイデアを募るなど、積極的に進めている。								8	9.1		11	12					
人権・労働	21	【労働環境改善に関する県の登録・認定】 ・労働環境改善に関する県の登録・認定を受けている。 （例）鹿児島県女性活躍推進宣言企業，かごしま子育て応援企業，かごしま「働き方改革」推進企業		●	2017年 鹿児島県女性活躍推進企業宣言。同年優良知事表彰受賞。 2023年 健康経営優良法人認定 2024年 えるぼし認定取得			3	4	5			8		10							
環境	22	【廃棄物・有害化学物質の管理等】 ・関係法令に基づき適切に廃棄物や有害化学物質の管理及び処理に取り組んでいる。	●		法令順守の徹底 資源循環に関する全従業員を対象とした研修会実施			3.9			6.3					11.6	12.3 12.4 12.5		14.1	15.1		
環境	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど，自社のエネルギー使用量を把握し，その削減に取り組んでいる。	●		毎月、電気・ガスの使用量を算出し、自治体への報告。省エネ委員会を通じて削減を促している。							7.3						13				
環境	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し，排出の抑制に取り組んでいる。	●		電気・ガスの使用量をCO2 排出量に換算。 省エネ委員会を通じて削減を促している。		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
環境	25	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入，かごしま認定リサイクル製品等）。	●		省エネ補助金を活用し、高性能ボイラ・業務用給湯器の導入 省エネ大賞受賞のターボ冷凍機などを導入 レインフォレストアライアンス、フェアトレード商品の導入									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
環境	26	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。	●		2020年より、豊かな城山の森の形成に繋げる取組として、敷地内で養蜂活動を開始。環境指標生物と呼ばれる蜜蜂が元気に飛び回る森を目指して植樹や清掃活動を行っている。						6.6								14	15		
環境	27	【３Ｒの推進】 ・ごみを減らし，資源を有効的に繰り返し使うため，発生抑制（リデュース），再使用（リユース），再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		リデュース～脱プラチックの取組。代替え素材への切替・宴会におけるペットボトルの廃止（紙パックウォーターへの移行）など リユース～感染対策用のアクリルボードをSDGsバッジや記念バッジにリメイクし、全従業員で着用 リサイクル～ペットボトルキャップを一元で回収し、ワクチン寄付に繋げている。						6.3			9.4		11.6	12.2 12.4 12.5	13	14.1	15		
環境	28	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し，利用効率の改善に努めている。		●	毎月の使用料把握。バックヤードのすべての水道に節水を促す啓発ステッカーを貼り付け。意識向上に努めている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
環境	29	【食品ロスの削減】 ・食品ロスの削減に取り組んでいる。		●	食べ残し～3010運動やろすのんを取り入れた啓発活動 調理残渣～生ごみ削減機を導入し、無機物と水に分解 売れ残り～ホテルメイドのパンを冷凍保存し月400個子ども食堂に寄付	1	2				6.4						12.3		14	15		17
環境	30	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001，エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している。		●	2020年、公益財団法人日本環境協会が認定するエコマークを取得			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
環境	31	【環境情報開示】 ・環境の取組に関する情報を正しく開示している。		●	ホテルにおけるSDGs活動を紹介したサスティナビリティリポートの発行												12.6					
環境	32	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善や再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	宴会場利用の際に発生するCO2をオフセットするCO2 ゼロマイスの提供、カーボンニュートラル都市ガスの導入、太陽光発電パネル設置							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4				13.1 13.3				
環境	33	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる		●	・2023年よりカーボンニュートラル都市ガスの導入												12.2	13	14	15		
環境	34	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・植林等，持続的な森林利用への取組を推進している。		●	敷地内で除草・剪定・清掃する際に出る植物残渣を廃棄せず自社で堆肥化させ、森に散布する循環システムの取組を実施						6.1 6.3 6.6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		

（様式第２号）

ＳＤＧｓ達成に向けた取組チェックリスト

・基本項目は23項目全てに，チャレンジ項目は23項目のうち5項目以上に具体的な取組を記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは，NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて，読み替えてください。
・これから取り組む項目については，取組内容の記載の前に，【予定】と記載し，これから取り組む予定の項目であることがはっきりと分かるようにしてください。

企業・団体等名（　城山観光株式会社　）

分類	ＮＯ	チェック項目	基本	ﾁｬﾚﾝｼﾞ	具体的な取組 （※事業者が記載する欄）	主なＳＤＧｓ（17のゴールと169のターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	35	【海洋ごみ】 ・プラスチックの使用削減等海洋ごみの削減や，海洋汚染の防止に貢献している。		●	・海洋ごみをテーマにした環境月間開催 パネル展示やワークショップなど、お客様と共に考える機会を提供している												12.2 12.5		14			
環境	36	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や，電気自動車や水素自動車などの環境に配慮した自動車の使用を促進している。		●	ホテル駐車場にEVカー充電器を設置									9.4		11.2		13.1 13.3				
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質確保】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		調理人が生産者の元を訪問し、実際に栽培～出荷までの様子を確認。生産者と直接やり取りすることで安心安全な食材の提供に繋げている。			3.9						9			12.4					
製品・サービス	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		専門家の指導の下、環境整備を実施。バリアフリー化１００％。貸出備品の充実、それらの情報開示に努めている									9.1	10	11.7						17
製品・サービス	39	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	サーキュラーパーク九州とパートナーシップを締結し、ホテルから出る廃棄物を高次元で再資源化するなど連携を図っている	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	40	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動，防災活動や寄付，ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		鹿児島県ユニセフ協会理事・評議員を務め、寄付や行事への参加など貢献活動を行っている。 日本赤十字社を通じた義援金の寄付など	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会・地域貢献	41	【地域資源】 ・地域産物等の地域資源を積極的に利用（地産地消等）している。		●	年に２～３回、県産の食材・特産品を使用した地域フェアを開催。 朝食会場などでも通年県内産食材の提供に努めている。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
社会・地域貢献	42	【インターンシップの受入れ等】 ・職場体験，インターンシップの受入れ，出前講座の実施など，地域の児童や学生に対し，学びの場を提供している。		●	小学生～社会人まで積極的にインターンを受け入れ、おもてなしやマナー、当社のSDGs活動の普及、職業体験の場として活用していただいている。学校や自治体・企業などにも積極的に赴き、出前授業を実施している。				4				8.6		10.2							17
社会・地域貢献	43	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組を行っている。		●	経営トップによる積極的な学校訪問をするなど、県内学生の採用に繋げている。 次世代のホテリエを育成するべく、県内の教育機関にホテルや調理に関する書籍を寄付				4.4				8.5 8.6									17
社会・地域貢献	44	【持続可能な観光の実現】 ・持続可能な観光（サステナブルツーリズム）の実現に寄与する取組を実施している。		●	自治体と連携した着地型観光の発信、プラン造成に努めている。								8	9		11	12		14	15		17
社会・地域貢献	45	【条件不利地域の振興】 ・条件不利地域（離島や中山間地域等）の振興に寄与する取組を実施している。		●	地方創生×カーボンクレジットプロジェクトへの参画		2	3	4			7	8	9	10	11	12		14	15		17
社会・地域貢献	46	【移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大】 ・地域外からの移住・交流の促進や，関係人口（※）の創出・拡大に寄与する取組を実施している。（※移住した「定住人口」や，観光に来た「交流人口」ではない，地域や地域の人々と多様に関わる人々）		●									8			11	12			15		17